

■ドイツ：3,000軒以上が原子力100%の電気料金メニューに加入

ドイツ有力紙は2014年12月11日、同月1日付でドイツ初となる原子力100%の電気料金メニューの販売が開始されたと報じた。同メニューの販売に乗り出したのはマックスエナジー社。同社は、ドイツ南部のアウグスブルク市に拠点を置き、石油販売を手掛けるザイラーの子会社。同社のスポークスマンによれば、同メニューの販売開始後1週間で3,000軒以上が加入しており、毎日、数百軒以上の加入申し込みがある。同社のメニューはスイスに立地する2つの原子力発電所と電力購入契約を結び組成されているが、必ずしもドイツ国内の他の料金メニューに比べて料金水準が安い訳ではない。それにもかかわらず加入申し込みがあるのは、「CO₂排出量を削減するためには、原子力を含め排出原単位が低いすべての電源を利用すべき」とする同社の方針に賛同が得られたためとみられている。同社の支持者には、1976年にノーベル物理学賞を受賞したバートン・リヒター氏などの著名な科学者のほか、グリーンピースの共同創設者であるパトリック・ムーア氏、グリーンピース英国元代表のシュテファン・ティンデール氏などの環境保護派も名を連ねている。